

U-40 代表理事挨拶

愛媛大学大学院
心臓血管・呼吸器外科学
泉谷 裕則 先生



U-40発足から10年が経ちました。医学生・初期研修医・専攻医が心臓血管外科に興味を持ち、心臓血管外科医を目指すためのガイドとして、今や本学会になくてはならない存在になっています。さらに、U-40メンバー自身が中心となって自ら研鑽し、さらに心臓血管外科の未来を切り拓く強い姿勢を示してくれています。発足10年を記念して、2024年2月開催の第54回日本心臓血管外科学会学術総会で、「U-40創立10周年記念セッション」が行われました。U-40の歴代代表幹事、渡邊 隼先生、高橋賢一朗先生、田中千陽先生の3名の座長で、本セッションを見事に取り仕切りました。U-40発足当時の本学会理事長 上田裕一先生のご挨拶を皮切りに、歴代幹事3名が「それぞれの時代での活動」を報告しました。また、歴代U-40担当理事の北川哲也先生、新保秀人先生、福田幾夫先生、山本浩史先生の4名が「U-40を振り返って」と題して講演を行いました。さらに、U-40卒業生13名が「U-40卒業後のキャリア」を報告しました。最後に、U-40現役幹事の高木大地先生、辻本貴紀先生の2名が「U-40で目指しているもの、やりたいこと」について意見を述べました。横山 斉理事長の講評で幕を閉じたこのセッションは、U-40の非常に重みのある10年の歩みを参加者全員が実感・共有できた素晴らしい企画でした。

U-40の活動としてはこの他、2月の学術総会でのChallenger's Live Demonstration 2024の開催と運営、3月から12月までに4回開催されたBLCハンズオンセミナーと7月に開催されたALCハンズオンセミナーの企画・運営を行ってきました。例年開催される8月のサマースクールにおいても多くのU-40メンバーが活躍しました。また、女性医師の会やそのプロジェクトにおいてもU-40の定期的な企画・活動として行われました。日本心臓血管外科学会雑誌においては、U-40企画コラムを掲載し、毎回興味深く充実した内容で読者を楽しませてくれています。U-40の活動や予定など多彩な内容はFacebookに掲載されていますので、こちらもご覧いただければ幸いです。

エネルギッシュなU-40メンバーに支えられ、私は2024年3月から代表理事の大役を仰せつかっております。U-40は学会員、共催会社の多くの方々のご理解とご協力を受け運営されてきました。これまでの寛大なるご支援に心から感謝を申し上げますとともに、今後も引き続きU-40活動へのご理解・ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

U-40 代表幹事退任挨拶

大和成和病院 心臓血管外科

高橋 賢一朗



2023年度より日本心臓血管外科学会U-40代表幹事を務めさせていただいている大和成和病院心臓血管外科の高橋賢一朗と申します。我々U-40は「患者・メディカルスタッフ・心臓血管外科医の笑顔の実現」を目的として、若手外科医の意思の集約と理事会への提案・交流の促進・知識や技術の獲得の機会を提供することを目的とし、2024年も多彩なプロジェクト活動を行って参りました。特に私個人的にはハンズオンセミナーの開催に力を入れて取り組んできました。

ハンズオンセミナーは単なる技術指導の場ではなく、「外科医が開眼する」貴重な場だと私は考えています。普段の手術も修練医にとっては学びの場ではありますが、ハンズオンは修練医の指導のためだけに行われるもので、普段の手術とは全く違う意味を持ちます。いつもの上司と違う指導医につきっきりで指導してもらうのですが、その指導には長年培ってきた経験・ノウハウが随所に散りばめられており、そこには「外科医の魂」が宿ります。短い時間のハンズオンですが、修練医が得た学びは忘れることのないものになると我々は信じています。また同年代の修練医や我々U-40幹事と同じ空間を共有することによって、日常業務では感じることのない刺激を受けることと思います。何かと悩みが付き纏う心臓血管外科修練医にとって、このような機会が後のキャリアにも良い影響を生んでくれることを願い、我々は全国各地でこうしたセミナーを企画運営してきました。

2024年は若手修練医に向けたBasic Lecture Courseハンズオンを全5回開催し、また上級手技

やコンテストイベントを含むAdvanced Lecture Courseハンズオンを全3回開催することができました。特にコロナ禍以来開催が見送られていたチャレンジャーズライブを冠疾患学会からU-40が引き継いで復活開催することができたのは、私としては悲願であり大変喜ばしいことでした。述べ300名近い修練医の方々に我々のハンズオンにご参加いただき、約120名の講師の先生方にご指導を賜りました。この場をお借りして関係各所の皆様に心より感謝申し上げます。

2023年に前任の田中千陽代表から代表幹事を引き継いで2年が経過し、私の代表としての任期は2025年3月を以って終了となります。U-40は世代交代を繰り返し、ますます成熟して若手心臓血管外科医の道標となる活動を展開していきます。皆様のご支援・ご指導を今後ともよろしくお願い申し上げます。

U-40 代表幹事新任挨拶

慈恵会医科大学心臓外科

辻本 貴紀



高橋代表の体制のもとU-40 副代表幹事を拝命して早 2年が経ち、U-40 の多岐に渡る活動、運営に微力ながら協力させて頂いています。また、来期よりこのU-40代表として組織の運営に従事いたしますので何卒よろしくお願いいたします。

この2年間はpostコロナとして再び現地開催のハンズオンや各所の学会やイベント、セミナーでU-40の活動ができるようになってきました。東京で夏は学生、研修医向けの心臓血管外科サマースクール、冬は若手修練医向けのハンズオンを大規模に開催できており、加えて支部開催のハンズオンも復活してきております。このような会を運営する中で、多くの高名な講師の先生方から心臓血管外科を志す若手へ対面で熱い指導をなさっている姿を見て、我々の活動の価値を実感しており、今後も活動の幅とクオリティを向上させていきたいと存じます。我々がこのように活動を続けられるのは、日本心臓血管外科学会の多大なるご支援があってこそであり、この場をお借りして理事の先生方、事務局の方々に深く御礼申し上げます。

今後は代表としてU-40という組織を今まで以上に「誇れる組織」にしていく所存です。心臓血管外科に関わるみなさまにご支援・ご協力を頂きますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

U-40 副代表幹事挨拶

秋田大学医学部附属病院 心臓血管外科

高木 大地



U-40 副代表幹事挨拶

福岡徳洲会病院 心臓血管外科

古賀 佑一



2025年度より、辻本先生が代表幹事となられる新体制のU-40の副代表幹事を拝命いたしました。2024年度までは九州沖縄支部代表幹事として、九州沖縄支部を中心とした活動に携わっていましたが、今後は副代表として、より広い視野で全国の若手心臓血管外科医の先生方とともに活動していきたい所存です。

私自身は常にU-40の大きな魅力の一つは「若手同士の横のつながり」を持てることと思っております。私がU-40の企画に受講生として参加した時から、医局とはまた別の同世代の先生方とのつながりを持つことができ、そこから自分の持つ視野が大きく広がった経験があります。

そのこともあり、より多くの「横のつながり」を求めて、U-40に幹事として参加させていただきました。その結果として、さらに多くの全国の先生方との横のつながりが持てたなど

実感しております。

心臓血管外科医を志す、学生や研修医が減っている現状だからこそ、この「横のつながり」で若手心臓血管外科医同士だけでなく、他の学会と連携し、その学会の若手とも「横のつながり」を持ち、心臓血管外科分野を盛り上げていく必要があると思います。そのためには各支部、プロジェクトで魅力ある企画を多く行い、「横のつながり」を広げ、そこから心臓血管外科を志す後輩をリクルートしていけたらと思っております。

皆様の多くの協力を得ることで、U-40をより多くの方に知ってもらい、企画に参加してもらうことで、心臓血管外科を盛り上げていきたいと思っておりますので、これからもよろしくお願いいたします。

支部紹介

北海道支部

北海道は広大ですが、心臓血管外科については都市部(特に札幌市)に施設や医師が集中しており、地方では数少ない施設で広大な医療圏をカバーしております。各医療圏で画像連携などの地域医療連携が工夫されておりますが、どのような施設でも幅広く対応できる心臓血管外科医が北海道には必要であり、3大学(北海道大学、旭川医科大学、札幌医科大学)を含めた35の修練施設で若手教育が行われており、U-40北海道支部もBLCハンズオンセミナーなどで若手の技術やモチベーションの向上に貢献できればと思います。

津軽海峡があるため各支部の皆さんと直接お会いする機会が少ない支部ではありますが、北海道のみならず、全国の活動にも積極的に参加していきたいです。

北海道支部長

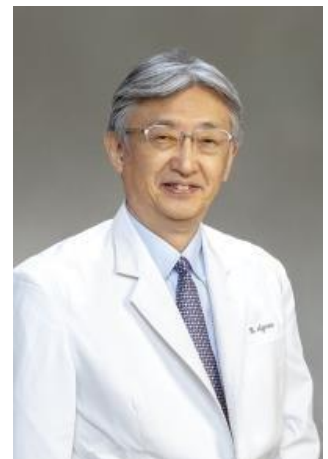
旭川医科大学

外科学講座 血管・呼吸・腫瘍病態外科学分野教授

東 信良 先生

U-40の皆さま、こんにちは！

日本心臓血管外科学会北海道支部代表を務めております、旭川医科大学の東信良です。北海道支部は、広大な北海道に若手が分散しているという北海道あるあるのハンデキャップはあるものの、内山博貴U40支部代表のもと、出身大学や所属機関の枠を超えて互いの連携を深めつつ、活動しております。働き方改革時代を迎え、心臓血管外科を専攻しようとする若手が激減すると予想する人が多いようですが、皆さんの働き方や輝いている姿が次世代を惹きつける大きな力を持っていると確信しています。U-40の皆さんが、若手に魅力ある活動を創造し、展開していただけることを期待しています。



北海道支部代表幹事

白石記念病院 心臓血管外科

内山 博貴



北海道支部代表幹事で札幌白石記念病院心臓血管外科の内山と申します。支部代表になり2年目となります。2024年は7月に5年ぶりに北海道でのBLCハンズオンレクチャーを行いました。多くの受講生・講師の先生にご参加いただき、お陰様で無事に終わることができました。コロナ禍以降、ハンズオンの企画が一段と難しくなっておりますが、少しずつ企画・運営のノウハウを蓄積していきたいです。支部単位での活動が少なくなっている傾向がありますが、北海道や全国の心臓血管外科医にとって実りのある企画を幹事の皆さんと一緒に作り上げていきたいと思っております。

北海道支部副代表幹事

函館中央病院 心臓血管外科

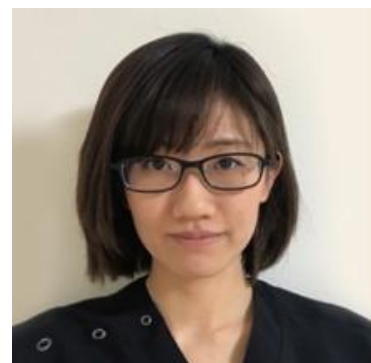
布施川 真哲



北海道支部広報

札幌医科大学附属病院 心臓血管外科

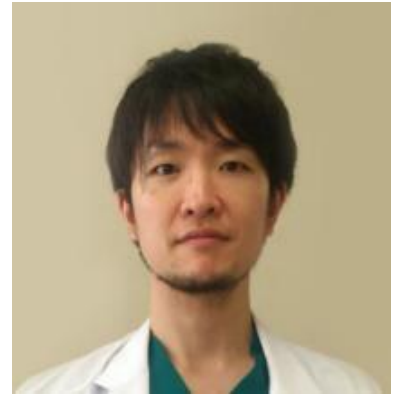
在原 綾香



北海道支部幹事

札幌孝仁会記念病院 心臓血管外科

杉本 聡



北海道支部幹事

札幌ハートセンター 心臓血管外科

若林 尚宏



北海道支部幹事

旭川医科大学 血管外科

竜川 貴光



北海道支部幹事

北海道循環器病院 心臓血管外科

宮本 寛之



北海道支部幹事

函館五稜郭病院 心臓血管外科

沼口 亮介



北海道支部幹事

KKR札幌医療センター 心臓血管外科

渡部 克将



北海道支部幹事

札幌医科大学 心臓血管外科

武川 慶



東北支部

東北支部長

東北大学 心臓血管外科
齋木 佳克 先生



2020年から約3年間にもわたり吹き荒れたCOVID-19 pandemicが明け、2024年からいよいよコロナ禍前のU-40東北支部活動を本格的に再稼働させようとしたタイミングに訪れたのは、今度は働き方改革の波でした。心臓血管外科医が取り組む日常的な臨床業務や毎日の修練については変わるものは何もないはずであり、応召の義務を背負う医師として、目の前に患者が訪れば全身全霊を捧げてその患者の健康の回復に注力するものです。緊急度の高い患者が訪れ、また、重症度の高い患者の管理が連続する中で修練を重ねる業務は、まさにheavy-duty work、labor intensiveであります。そのような就労生活の中で時間的制約を課せられれば、犠牲になるのは自ずと余裕があってこそ取り組める研究活動や“課外活動”になります。そのような環境下にあって、U-40の活動を継続することは容易ではないと想像します。今日に至るまで私用を顧みることなくU-40活動に貢献されてきた支部役員の方々に敬意を表します。

今年度の支部活動は、中央の活動の支援が中心でありました。東北支部全体で、心臓血管外科サマースクールでの企画参加と人的支援、年4回行われているBasic lecture courseにおける主催側の支援と会運営の支援を複数名で行っています。また、心臓血管外科学会雑誌編集に関連して、「新専門医制度で修練指導医申請を見据えた心臓血管外科専門医取得へのコツ」の執筆（秋田大学、山崎氏執筆）、「心臓血管外科専門医テキスト」内でのノンテクニカルスキル(支部代表幹事、高木執筆)、先天性心疾患（副代表幹事、小渡執筆）、大動脈（支部幹事、今村執筆）など複数名がU-40として参加しています。彼らにとっても非常に生産的な機会となったと思います。さらに、昨年末にCALSプロジェクトを立ち上げ、1月25日に第一回 CALSセミナーを開催し多くの参加者が集い盛会でした。来年度のさらなる発展が期待されます。

東北支部代表幹事

秋田大学医学部附属病院 心臓血管外科
高木 大地



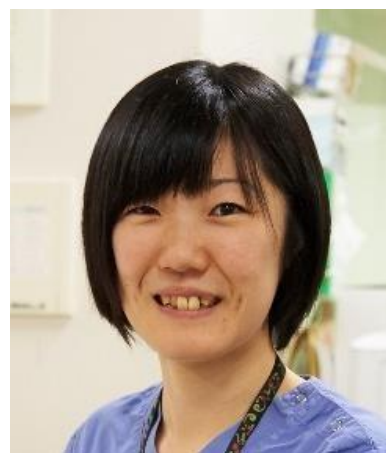
東北支部副代表幹事

弘前大学医学部 心臓血管外科
小渡 亮介



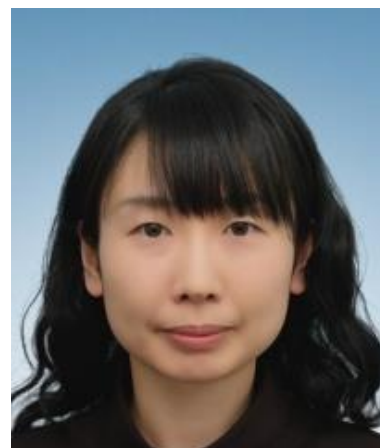
東北支部広報

山形大学医学部附属病院 第二外科
石澤 愛



東北支部幹事

東北医科薬科大学 心臓血管外科
武田 美貴



東北支部幹事

仙台厚生病院 心臓血管外科
長沼 政亮



東北支部幹事

福島県立医科大学 心臓血管外科学講座
石田 圭一



東北支部幹事

岩手医科大学附属病院 心臓血管外科
田林 東



東北支部幹事

弘前大学医学部 胸部心臓血管外科
今村 優紀



東北支部幹事

総合南東北病院 心臓血管外科
新妻 健



関東支部

今年度から関東甲信越支部長に千葉大学附属病院の松宮護郎先生が就任されました。

関東甲信越支部は9名の幹事で力を合わせて活動しました。

今年度から伊勢崎市民病院の田村重樹先生が幹事に加入しました。

関東支部長

千葉大学 心臓血管外科

松宮 護郎 先生



本年度より日本心臓血管外科学会関東支部長を拝命しております、千葉大学心臓血管外科の松宮です。U40の活動は年々充実してきており、我々理事などからの指示を受けることなく、自主的に活動の幅を広げておられるのは、本当に素晴らしいと思っております。また、忙しい臨床の合間の時間を使って、自分達の後に続く世代のために専門医試験問題の解説編を出版されるなど、その活動はさらに広がってきており、本当に頭が下がる思いです。

働き方改革を進め、再び夢を持った外科医がたくさん入ってきてくれるように環境を整えたいと思っています。そのためには、皆さんの声が非常に重要です。今後もU40活動を全面的にバックアップする所存でありますので、ぜひ皆さんの積極的な学会への貢献をよろしくお願い申し上げます。

関東支部代表幹事

千葉県こども病院 心臓血管外科
伊藤 貴弘



2022年度から関東甲信越支部代表に就任しました伊藤貴弘です。
今年度も2024年12月7日にPiO PARK EBM羽田医療技能訓練所でBLCハンズオンを開催しました。関東甲信越支部副代表の西織浩信先生がリーダーとなり関東甲信越支部幹事も運営に携わりました。来年度もBLCハンズオンを通して、若手の技術向上と横のつながりに力を入れたいと考えております。

関東支部副代表

千葉大学医学部附属病院 心臓血管外科
西織 博信



関東支部幹事

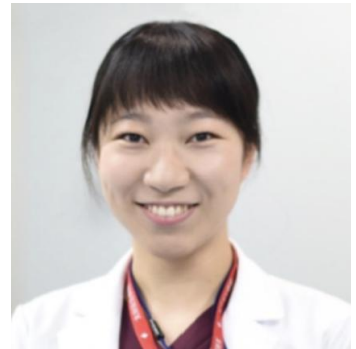
伊勢崎市民病院 心臓血管外科
三木 隆生



関東支部広報/全体広報

済生会宇都宮病院

亀田 柚妃花



関東支部幹事

新松戸中央総合病院 心臓血管外科

宮崎 豪



関東支部幹事

済生会横浜市南部病院

心臓血管外科

森 佳織



関東支部幹事

済生会宇都宮病院 心臓血管外科
時岡（山形） 美里



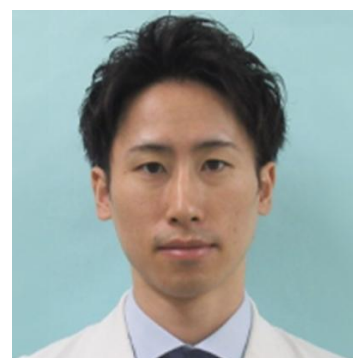
関東支部幹事

順天堂大学
陣野 太陽



関東支部幹事

伊勢崎市民病院 心臓血管外科
田村 重樹



東京支部

東京支部は修練施設が密集しており、U40心臓血管外科医が多い支部の一つです。幹事構成は各分野にバランスの良いメンバーとなっており、成人心臓大血管が7名、先天性が3名、末梢血管が1名で、幅広い活動を行っています。主要幹部やプロジェクトリーダーとして活躍している活動的な幹事が多い支部でもあり、著名な教授・講師の先生方との交流の機会も多くあります。

本年度は小森悠矢先生、相澤宏彰先生、和田拓己先生を新たに幹事に迎えました。昨年度よりBLCハンズオン活動が本格化し、12月には関東支部主催の羽田BLCに一部幹事が共同で参加しました。来年度はU40が一層発展するよう、新たなメンバーでより一層活動してまいります。

東京支部長

東京大学大学院医学系研究科 心臓外科
小野 稔 先生



東京支部代表幹事

東京医科歯科大学 心臓血管外科
櫻井 啓暢



東京支部広報

平塚市民病院 血管外科
林 啓太



東京支部幹事

榊原機記念病院 心臓血管外科
桑原 優大



東京支部幹事

東京ベイ・浦安市川医療センター 心臓血管外科
吉野 邦彦



東京支部幹事

東京女子医科大学
片桐 絢子



東京支部幹事

聖路加国際病院 心臓血管外科
玉木 理仁



東京支部幹事

慶應義塾大学医学部 外科学(心臓血管)
原田 大暉



東京支部幹事

榊原記念病院 小児心臓血管外科
小森 悠矢



東京支部幹事

埼玉医科大学国際医療センター
相澤 宏彰



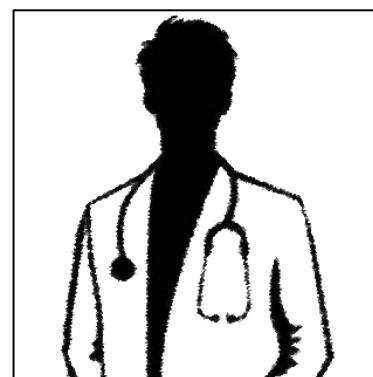
東京支部幹事

三井記念病院
和田 拓己



東京支部幹事

榊原記念病院
角 康平



中部支部

U-40中部支部代表の金沢大学心臓血管外科の上田秀保です。

中部支部は太平洋側の東海地方と日本海側の北陸地方から構成されています。コロナも明け、以前のような学会や講演会・BLCのようなトレーニングを対面で行うことができ、心臓血管外科医同士の交流は盛んであるよう思えます。2024年の心臓血管外科学会では、中部支部によるU-40特別企画を開催させて頂き、コラムとして心臓血管外科学会雑誌に投稿させて頂きました。感謝申し上げます。

何を成すか、何を突き詰め極めるのか、将来どのような構想を持っているか、ということが大事であることは、異論ないと思います。しかし、深く立派な思想がなくとも、流されるまま活動していても、他施設の同世代の外科医の状況を知ること、今後の診療や後輩への教育、自分の未来につながる可能性は大いにあります。そのためには、まず交流自体を深めることが重要と考えます。引き続き、U-40として交流の場を盛んにすべく、活動していこうと思います。何卒よろしくお願い申し上げます。

中部支部長

藤田医科大学病院 心臓血管外科
高木 靖 先生

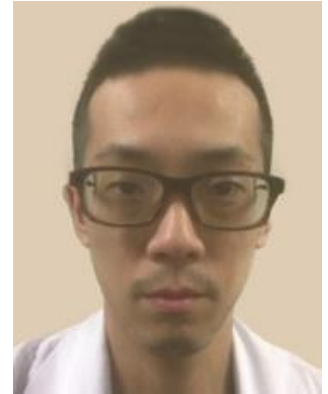


日本心臓血管外科学会中部支部長を拝命しております、藤田医科大学心臓血管外科の高木です。昨年4月より医師の働き方改革が始まっておりますが、先生方の病院では労働環境は変わったでしょうか？帰宅時間が早くなった、休みがとりやすくなったと意見も多いですが、研究の機会が少なくなったとか、給料が減ったという意見も聞くことがあります。

U-40の先生方の活動は年々幅が広がってきており、対象は若い先生方のみでなく、私が委員長を拝命しているチーム医療推進委員会の活動に関してもご協力いただいております。U-40の先生方には“特定行為研修修了者会の会員”の教育を各地域ブロックの方に対していただいております、大変助かっております。また、今後は、成人心臓血管外科の領域の特定行為研修修了者会の会員の方に向けたテキストブックを出版する予定となっておりますが、この執筆に関してもご協力いただく予定です。暖かいご支援ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。

中部支部代表幹事

金沢大学 心臓血管外科
上田 秀保

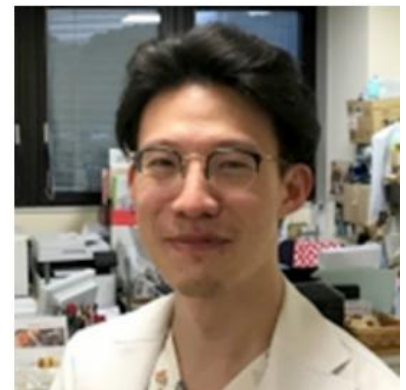


U-40中部支部代表の金沢大学心臓血管外科の上田秀保です。

中部支部の代表を拝命したものの、特に大きな渦も作れず、長いものに巻かれ日々診療しています。U-40の活動では、自身の凡人さを再認識させられます。同世代でいわゆる「すごい」先生が多数いて、引け目を感じてしまうことが多いです。しかし、自身を「すごくない」と思う人も、幸せになる権利はあると考えています。そのためには、全国の「すごい」心臓血管外科医と関わらなければ始まりません。自分自身の閉鎖的な考えから離脱し、U-40の活動を通して貴重な機会を得て、できれば自分が「すごい」になりたいと思います。その願いが叶わずとも、凡人を自覚しようとも、自分の介入によって「すごい」後輩が出現する可能性もあります。誰もが臨床に忙殺されますが、少しでも交流を増やし、butterfly effectを起こすことができるよう尽力していきます。ただし老害とならないように十分気をつけます。よろしくごお願い申し上げます。

中部支部副代表

富山大学 心臓血管外科
鳥塚 大介



中部支部広報

静岡県立こども病院 心臓血管外科
中村 悠治



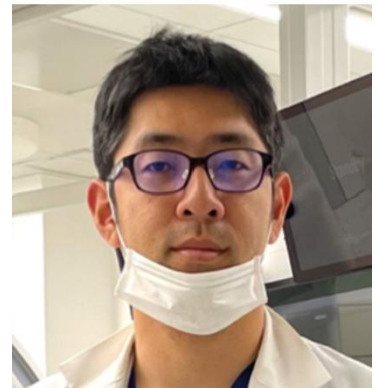
中部支部幹事

愛知厚生連海南病院 心臓血管外科
西 俊彦



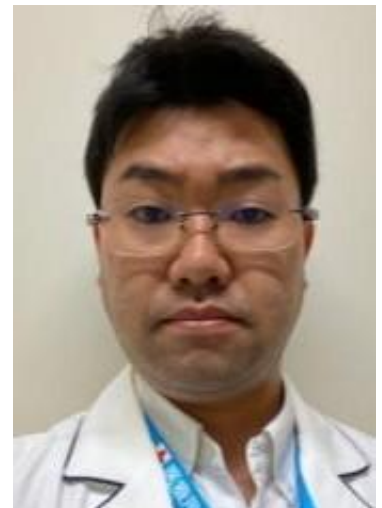
中部支部幹事

JA愛知厚生連豊田厚生病院血管外科
秋田 直宏



中部支部幹事

日本赤十字社和歌山医療センター 心臓血管外科
矢野 啓太



中部支部幹事

三重大学医学部附属病院 胸部心臓血管外科
別所 早紀



中部支部幹事

刈谷豊田総合病院 心臓血管外科
北村 浩平



中部支部幹事

藤田医科大学 心臓血管外科
松橋 和己



中部支部幹事

大垣市民病院 心臓血管外科
山川 将人



中部支部幹事

静岡市立静岡病院 心臓血管外科
鈴木 貴弘



近畿支部

近畿支部は滋賀、京都、大阪、奈良、和歌山、兵庫の6府県で構成されており、現在滋賀・和歌山を除く4府県から計7名の幹事に参加頂いています。近畿は非常に病院数の多い地域であり、おそらくはU-40の若手心臓血管外科医も多く在籍しているであろう地区だと思います。限られた症例数の中で、若手の数が多いというのは症例の取り合いになってしまう、というのはもはや過去の話になっています。今や心臓血管外科医を目指そうというresidentの数は減り、ほとんどの施設で人員不足になっている現状です。この現状を打破するためには若手同士で切磋琢磨し、次世代の心臓血管外科医の育成が急務です。少しでもそれをお手伝いできればと思っています。参加したい方がいらっしゃったらいつでもご連絡ください。お待ちしております。

近畿支部長

京都府立医科大学
夜久 均 先生



近畿支部代表幹事

慈恵会医科大学心臓外科
辻本 貴紀



近畿支部副代表幹事

埼玉県立小児医療センター
本宮 久之



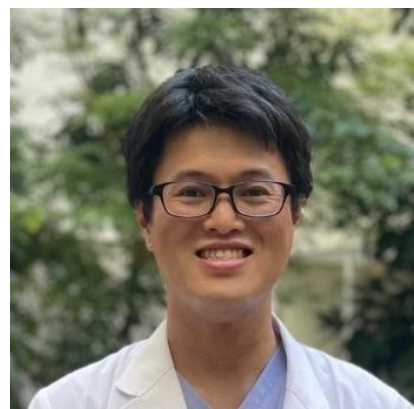
近畿支部広報

福岡市立こども病院 心臓血管外科
永瀬 崇



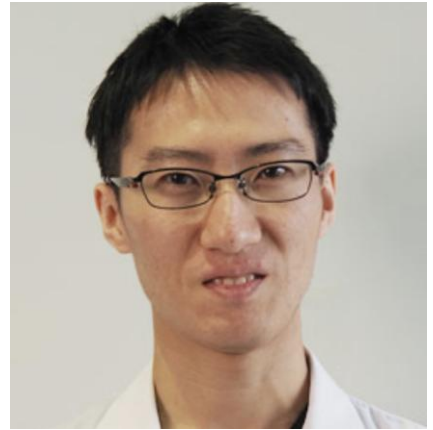
近畿支部幹事

国立循環器病研究センター
藤内 康平



近畿支部幹事

大阪公立大学 心臓血管外科
野田 和樹



近畿支部幹事

関西電力病院 心臓血管外科
北方 悠太



中国四国支部

中国四国9県にまたがる広いエリアで活動しています。各医療圏を守る役割をそれぞれの心臓血管外科病院が担っていると思います。対面でのOff-JT・研究会・学会が再開されてきました昨今、若手修練の場を我々も提供していければと存じます。短時間で会場に到達できるwet labo開催は難しいですが、ありがたいことに熱い講師の先生方に恵まれていますので若手が望むOff-JTの機会を大切にしていきたいです。経費の面、働き方の面など様々な要因で頻回な開催が難しい時代です。意欲のある先生方は是非Off-JT (Basic Lecture Course) にご参加ください。我々支部幹事も横のつながりを大切に切磋琢磨していく所存です。引き続きよろしくお願いたします。

中国四国支部長

山口大学大学 器官病態外科学
濱野 公一 先生



中国四国支部代表幹事

岡山大学病院 心臓血管外科
井上 善紀



中国四国支部副代表

近森病院 心臓血管外科
衣笠 由祐



中国四国支部広報

広島大学病院 心臓血管外科
呉 晟名



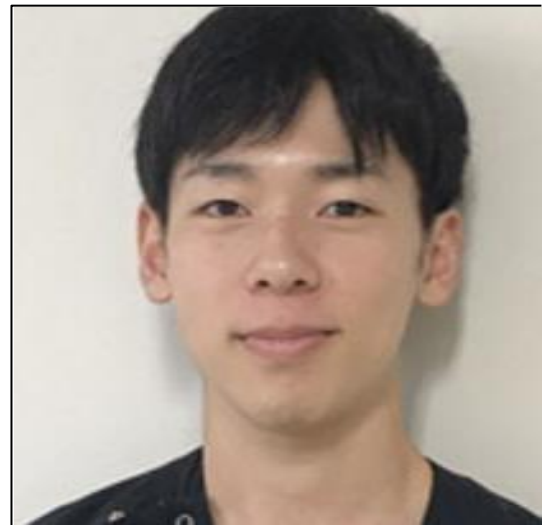
中国四国支部幹事

徳山中央病院 心臓血管外科
松野 祐太朗



中国四国支部幹事

愛媛大学 小児心臓外科
坂本 裕司



中国四国支部幹事

山陰労災病院
堀江 弘夢



中国四国支部幹事

香川大学病院
池田 千晶



中国四国支部幹事

岡山大学病院
杭ノ瀬 慶彦



中国四国支部幹事

愛媛大学
檜垣 知秀



九州沖縄支部

九州沖縄支部は九州・沖縄8県を中心に活動をしています。今年度は2名の幹事が交代、BLCに参加してくれた先生2名が新たに幹事に就任してくれて、合計12名の幹事で構成されています。そのうちのほとんどの先生が2年以内に幹事に就任したというフレッシュなメンバーで活動しております。

今年度の支部の活動としては、①「働き方改革」をテーマとしたコラム作成、②BLCの開催でした。

コラムはU-40会員の皆様にアンケートをとり、今年度から始まった、働き方改革の現状と今後の課題などが明確に浮き彫りになり、非常に興味深い内容でした。今後、学術集会での発表し、多くの方に周知していければと思っております。

BLCですが、福岡開催は昨年度の反響が大きかったため、今年度も2024年10月に福岡大学病院で開催いたしました。九州に限らず全国から若手心臓血管外科医の先生が参加し、九州沖縄の著名な先生方から手厚い指導を受け、大変好評でした。講師の先生方をはじめ、多くの方の協力のおかげであり、感謝申し上げます。九州・沖縄地区で新たに心臓血管外科になろうとする医師が来年は今年よりは多くなっており、我々の活動が一助になっていると思ひ、今後も活動を続けてまいります。心臓血管外科の魅力を伝えるためにも若手同士で切磋琢磨し、互いに協力し合える環境づくりが大切だと思います。そのような場を今後も作っていけるように努力する所存ですので、よろしく願いいたします。

九州沖縄支部長

大分大学医学部附属病院 心臓血管外科 教授
宮本 伸二 先生



2024年衝撃的な声がどこからともなく聞こえてきました。九州地区であらたに心臓血管外科医の道に進んだ研修医はほとんどいなかったというのです。大学の教室、各施設の長は私を含めてこの事実を重く受け取らなければなりません。要因はいろいろ考えられます。関東、関西の学生が医師免許だけを取りに九州の大学に来ている（合格したら地元に戻る）こと、一方大学が地域枠をどんどん広げ、その仕組みの中で医師になるものは心臓血管外科を選択しづらくなっていること、また「直（接）美（容外科）」に象徴される若者の描く医師像の変化などなどです。大分大学をみても地域枠は卒業生の半数近くにおよび、私の教室でもこれまで地域枠から入局した人はいません。一刻を争う疾患を扱う心臓血管外科は究極の地域医療だ！と常日頃内外で訴えているのですが、行政はそれを理解せず一般内科医、外科医、小児科医、産婦人科医をつくろうと制度設計を行っています。とはいえ他人（回り）のせいにはしないで僕らで何ができるかを考えなくてははいけません。U-40の理念の中には自分たちの成熟がうたわれており、それについては他の学会の追随を許さな

いほど活動していますが、是非そこに自分たちを継ぐ、更に次世代への働きかけも加えてほしいと思います。いまでもサマースクールなどにも関与してもらっているわけですが、更に今後はリクルートを皆で考える場を設け、学生、初期研修医師に働きかける企画なども組んでほしいと思います。おやじやおふくろが言ってもだめだけど、兄ちゃん姉ちゃんがいうことには耳を傾けてくれるのでは？もちろん僕ら（ジジイ）もアイデアを出して努力していきます。他人のせいにはしてはいけませんからね。

九州沖縄支部代表幹事

光晴会病院
古賀 佑一



渡邊隼先生、西村征憲先生、野上英次郎先生、和田久美子先生に次いで、本年度より幹事の拝命と同時に九州沖縄支部の代表幹事を拝命した、古賀 佑一と申します。佐賀大学医学部 胸部・心臓血管外科の医局に所属しております。幹事拝命の際に代表幹事の相談を和田先生よりされたときには大変驚きましたが、医局の先輩である野上先生からも後押しを受け、代表幹事としてこの1年を走ってきました。その中で現地開催のBLCを福岡で行った際に久しぶりに医局や病院の枠を越えて、同世代の先生方と交流することができ、U-40の大きな魅力の一つである「若手同士の横のつながり」を、改めて私自身も肌で感じることができました。このつながりを多くの先生方に実感していただけるような活動を続けていきたいと思っています。心臓血管外科医を目指す若手が減っている現状では、大学・病院を越え、若手心臓血管外科の先生方が協力しあっていく必要があると感じています。九州沖縄だけでなく、全国の先生の力に少しでもなればと思っていますので、今後ともよろしく願いいたします。

九州沖縄支部副代表幹事

大分岡病院
阿部 貴文



九州沖縄支部広報

大分県立病院 心臓血管外科
田口 駿介



九州沖縄支部幹事

熊本市民病院
岩橋 啓介



九州沖縄支部幹事

産業医科大学 心臓血管外科
岸上 赳大



九州沖縄支部幹事

福岡大学
早麻 政斗



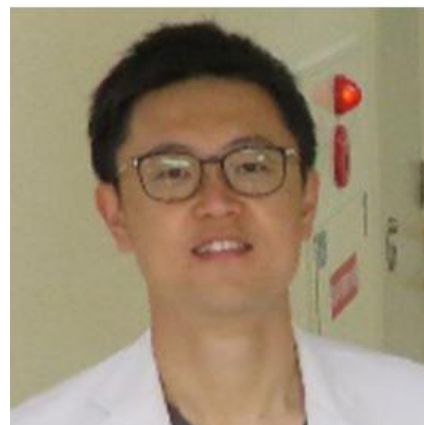
九州沖縄支部幹事

熊本大学病院
日高 秀昭



九州沖縄支部幹事

宮崎大学 心臓血管外科
森 晃佑



九州沖縄支部幹事

琉球大学
新崎 翔吾



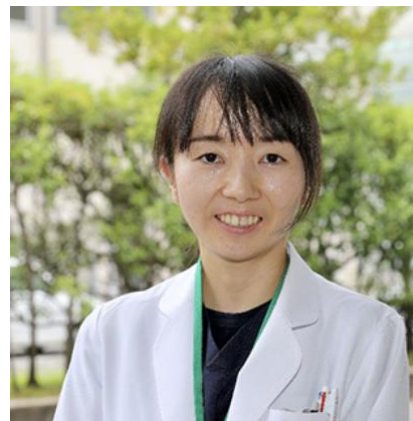
九州沖縄支部幹事

鹿児島大学病院
寺園 和哉



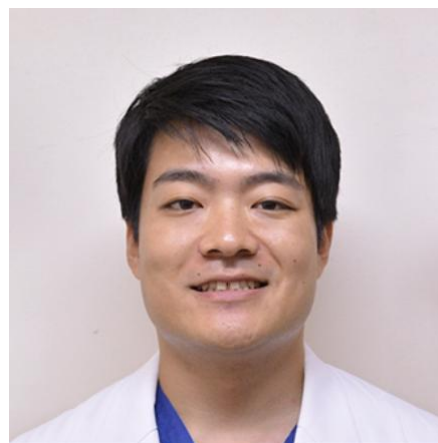
九州沖縄支部幹事

福岡大学
若松 佳代



九州沖縄支部幹事

沖縄県立中部病院
渡邊 雄太



U-40 プロジェクト

U-40 では、現在

”日本心臓血管外科学会雑誌 U-40 コラム”，

” Advanced Lecture Course (ALC)”，

” Meditech Education Project”，

”先天性プロジェクト”，

”NOTSS プロジェクト”，

”女性医師プロジェクト”，

などのプロジェクトが進行しています。

ここでは、各プロジェクトの代表者から本年度の活動を報告致します。

日本心臓血管外科学会雑誌 U-40 コラム

プロジェクトリーダー

秋田大学 心臓血管外科

高木 大地

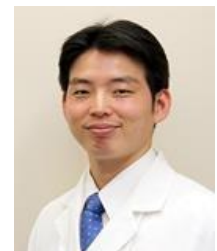


Advanced Lecture Course (ALC)

プロジェクトリーダー

東京ベイ・浦安市川医療センター 心臓血管外科

吉野 邦彦



Meditech Education Project

慈恵会医科大学 心臓外科
辻本 貴紀



本プロジェクトは基本技能定量化プロジェクトとしてU-40のOBである安水大介先生、山田敏之先生がポイの縫合トレーニングを開発されたプロジェクトの続編としてテクノロジーを教育にいかす活動を行なっていく目的で立ち上げたものです。去年、東南アジア最大の医師向けプラットフォーム「ドクイティ (DOCQUITY)」を用いたe-learningの試験運用を心臓血管外科サマースクール2024で行い、今後このようにe-learningによる基本技能の標準化、ハンズオンの効率化にむけて活動していく予定としております。ただ、現在メンバーが一人だけですので、他のプロジェクトと紐づけて活動していく方向で考えております。

心臓血管外科サマースクール

慈恵会医科大学 心臓外科
辻本 貴紀

この活動はU-40が主催する活動ではありませんが、U-40が多く関わった活動としてannual reportに記載させていただきます。

1. 開催日時； 2024年8月24日(土)12時～18時、8月25日(日)9時～17時
2. 会場； 羽田イノベーションシティ(イービーエム羽田医療技能訓練所)
3. 受講者数； 96名
4. 共催企業； 松田医科工業社、EBM社、Terumo社、Edward社、含め計20社以上
5. 参加費用； 学生5,000円 研修医/専攻医8,000円
6. 講師； 51名(内3学会理事長(小野先生、千田先生、東先生)3名、成人心臓外科分野講師21名、血管外科分野講師5名、小児心臓分野講師3名、U-40幹事19名)

心臓血管外科サマースクール2024が先月8月24日25日に行われ、U40として多く関わらせていただいたので報告いたします。心臓血管外科サマースクールは、心臓血管外科の魅力を伝えリクルートを行う会であり、医学生4～6年生、研修医1/2年目、専攻医1年目を対象とした会です。

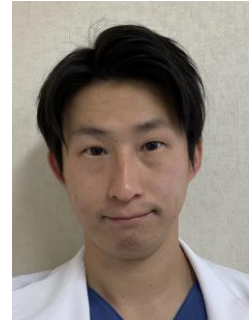
今年のサマースクールは開催前にDoquityというプラットフォームから参加者へ今回の手技に関わる講義を聴講してから会に臨んでもらい、初日から参加者に4人1組に分かれてハンズオンを行う形式でした。講師として初日からU40のメンバーが15人参加しそこでドライラボ1のはじめにU-40の高橋賢一朗先生からミニレクチャーを行ったのちに結紮、皮膚縫合、ドライラボ2のはじめにU-40の古賀佑一先生からミニレクチャーを行ったのち血管吻合を想定した実習をおこなってもらいました。2日目の朝は私辻本貴紀がAVR、CABGに必要な解剖知識をU-40の伊藤貴弘先生がVSD closureに必要な解剖知識を講義した上で羊心臓を用いて解剖学習を行いました。午後は豚と羊の心臓およびシミュレーターを用いた実践的ハンズオンを行い、U-40メンバーも講師として多く参加しました。このサマースクールは若手をリクルートする会として非常に重要な意義がある会だと改めて実感し、今後もU-40が積極的に関わらせていき盛り上げていきたいと考えております。



先天性プロジェクト

U-40 先天性プロジェクトリーダー 伊藤 貴弘(千葉県こども病院)

サブリーダー 坂本 裕司(愛媛大学)



メンバー：小渡亮介(弘前大)，桑原優大(榊原記念病院)，本宮久之(京都府立医科大学)，中村悠治(静岡県立こども病院)，片桐絢子(東京女子医科大学)，森佳織(横浜市立大学)，鳥塚 大介(富山大学)，岩橋啓介(九州大学)，原田大輝(慶應大学)

2024年度のU-40先天性プロジェクトの活動報告をいたします。

【U-40 先天性プロジェクトのMission】

- ・若手小児心臓外科医向けのハンズオンセミナー開催
- ・学会、セミナーで若手が積極的に発言しやすい環境作り
- ・U-40小児心臓血管外科のための情報共有と情報交換
- ・若手の意見を考慮した「小児心臓血管外科医生涯育成プログラム」作成

【2024/12/7 U-40 BLCハンズオン 先天性コース開催】

今年度もU-40 BLCハンズオンで先天性コースを開催しました。講師として、筑波大学附属病院の平松祐司先生、東京女子医科大学の新川武史先生、榊原記念病院の和田直樹先生、東邦大学の片山雄三先生、千葉市立海浜病院の権沢政司先生、順天堂大学の中西啓介先生、U-40幹事から小渡先生と本宮先生にご協力いただきました。

今年度は「小児心臓血管外科医生涯育成プログラム」でAdvanced-1レベルの対象疾患であるファロー四徴症のハンズオンを行いました。

新川武史先生より「ファロー四徴症のVSD閉鎖」、平松祐司先生より「右室流出路再建」に関して講義していただき、クロスメディカル社のファロー四徴症ドライモデルを使用して「VSD閉鎖」と「右室流出路再建」を行いました。

【日本小児循環器学会 次世代育成委員会と外科系教育委員会の活動】

伊藤と本宮が日本小児循環器学会の次世代育成委員会、伊藤がU-40先天性プロジェクトリーダーとして外科系教育委員会に委員として参画しています。

【次世代教育委員会】

次世代教育委員会は、「小児心臓血管外科医生涯育成プログラム」の実施が目的です。アンケートや定期モニタリングの結果を解析して、修練医にとって充実したプログラムになるように尽力しています。

【外科系教育委員会】

今年度は「小児心臓血管外科医生涯育成プログラム」のBasicレベルを対象とした手術を中心に外科系教育セミナーを開催しました。

【第10回 JSPCCS外科系教育セミナー「側開胸・小開胸での安全なASD閉鎖術」】

2024年7月27日に「側開胸・小開胸での安全なASD閉鎖術」をテーマとして、神奈川県立こども医療センターの橘剛先生、兵庫県立こども病院の松島峻介先生、兵庫県立尼崎総合医療センターの吉澤康祐先生よりご講演いただきました。

司会はU-40から伊藤と埼玉大学国際医療センターの平野暁教先生、ディスカッサントとしてU-40幹事から中村先生が参加しました。

【第11回 JSPCCS外科系教育セミナー「Glenn手術～両側Glenn手術, TCPS, PA形成まで～」】

2024年11月30日に「VSDI型の閉鎖術 ～閉鎖方法の使い分け～」をテーマとして、新潟大学の白石修一先生、筑波大学附属病院の加藤秀之先生、兵庫県立こども病院の松久弘典先生にご講演いただきました。またU-40から伊藤が講師として講演させていただきました。

U-40から本宮先生と埼玉大学国際医療センターの平野暁教先生が司会を行いました。

【2024/8/24～25 心臓血管外科サマースクール2024 先天性コース開催】

今年も心臓血管外科サマースクールが開催されました。

毎年成人コースのみの開催でしたが、今年は初めて先天性コースを開催しました。

U-40 BLC先天性ハンズオンで開催して好評であったラムの小心臓にVSDを作成して参加者がVSD閉鎖を行う手技を行いました。

VSDはsubarterial typeとperimembranous typeの2種類の欠損孔を作成しました。

「小児心臓血管外科医になりたい」、「来年も参加したい」と参加者からとても大盛況でした。

【2024/2/21 第54回日本心臓血管外科学会総会 この人のこの手術がみたい (U-40 コラボ企画)】

昨年大好評であったU-40コラボ企画、「この人のこの手術がみたい」を開催しました。今年度もビデオ演題のテーマと演者の先生はU-40幹事で話し合い決定しました。

司会は新潟大学の白石修一先生と静岡県立こども病院の伊藤弘毅先生、演者の先生はDORV(subaortic)を兵庫県立こども病院の松久弘典先生、BTシャントを筑波大学附属病院の加藤秀幸先生、redo RVOTRを大阪母子府立母子総合医療センターの津村早苗先生、前方弁輪拡大AVRを東京女子医科大学の新川武史先生、後方弁輪拡大AVRを心臓血管研究所の在國寺健太先生にご講演いただきました。

ディスカッサントとしてU-40幹事から小渡、本宮、伊藤、中村、坂本が参加しました。

NOTSS プロジェクト

プロジェクトリーダー

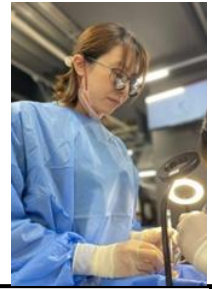
秋田大学医学部附属病院 心臓血管外科



高土 一也

女性医師プロジェクト

プロジェクトリーダー
横浜市立大学附属病院 心臓血管外科・小児循環器科
森 佳織



女性医師プロジェクト

横浜市立大学附属病院 心臓血管外科・小児循環器科 森佳織

女性医師プロジェクトは、女性医師が長く心臓血管外科医として働ける環境を考え、心臓血管外科全体の環境改善に繋げることを目標に発足したプロジェクトで、まだまだロールモデルの少ない女性心臓血管外科医の横のつながりを深める役割も担っています。

2024年はwebinar形式の勉強会や、アンケートの実施、それをもとに行ったワークショップを開催いたしましたので活動をご報告いたします。

【2024/3/30 女性医師プロジェクト勉強会】

①“先天性心疾患・開心術後の女性の生理、妊娠・出産”、②“心臓血管外科医が長く外科医として活躍するためのコツ～心臓血管外科医のダイバーシティ～”をテーマに、国立循環器病センター産婦人科 神谷千津子先生、横浜市立大学附属病院 心臓血管外科 立石実先生にご講演を頂きました。第一部では、神谷先生より先天性心疾患や抗凝固療法中の患者さんの月経トラブルや、妊娠・周産期の実際について多数の症例を交えての講義を、第二部では立石先生より女性心臓血管外科医として活躍のコツ、神谷先生より日本循環器学会 ダイバーシティ 推奨委員会JCS-JJC(女性循環器医コンソーシアム)でのアンケート結果やダイバーシティ活動に関するお話を頂き、U-40から田中先生、秋山先生、野田先生、石澤先生、在原先先生、亀田先生、武田先生、時岡先生、森がディスカッションとして参加し、女性心臓血管外科医が長く外科医として活躍するためのコツを協議しました。



【2024/8/31 アンケート&ワークショップ】

2020年に心臓血管外科学会会員を対象としたアンケート調査を行い、“女性が男性心臓血管外科医と同じように働けるか”、“平等に働く上での課題とは何か”について検討しました。今回は次世代の心臓血管外科医の確保・育成に焦点をおき、現役の先生方だけではなく、心臓血管外科サマースクールで医学生・研修医を対象としたアンケートを行い、“心臓血管外科医を志す医学生・研修医が考える女性心臓血管外科医の課題、心臓血管外科医を志す上で不安に感じること、キャリア形成への疑問”を聴取し、そのアンケート結果をもとに現役女性心臓血管外科医が議論する形式のワークショップを行いました。U-40から田中先生、野田先生、亀田先生、時岡先生、森がパネリストとして参加し、イービーエム株式会社とのコラボ企画として動画配信も行いました。



U40コラボ企画：女性心臓外科医のリアル



【今後の活動について】

2022年の統計では、全国の医師数34万3275人のうち、女性医師の割合は23.6%、心臓血管外科学会会員における女性医師の割合は5.9%に留まりましたが、新規入会者数における女性医師は13.1%と、今後も女性心臓血管外科医の数は増加していくことが見込まれます。外科医不足・減少が叫ばれる昨今、心臓血管外科医のダイバーシティ&インクルージョンを考え、性別はもちろん様々な多様性を受け入れ、活かし、次世代心臓血管外科医の確保や、心臓血管外科領域の更なる発展につながることをできればと考えております。

2025年度も勉強会やハンズオンなどの活動を行っていく予定です。

最後になりましたが、いつも女性医師プロジェクトの活動にご理解ご協力を頂き、誠にありがとうございます。女性医師プロジェクトではアカデミックな活動から地域貢献、さらにお互いがメンターとなり外科医として活躍する上でのサポートなど幅広い活動を行っています。メンバーは随時募集中ですので、学年や働き方によらず少しでも興味がある方はぜひお声がけください！！

BLC ハンズオン

2024年度 日本心臓血管外科学会 U-40 主催
BLCハンズオンセミナー

- 2024年1月13日（土） 10：00－17：00
@羽田 PIOPARK
- 2024年3月16日（土） 10：00－17：00
@岡山大学病院
- 2024年7月20日（土） 10：00－17：00
@札幌医科大学
- 2024年10月19日（土） 10：00－17：00
@福岡大学病院
- 2024年12月7日（土） 10：00－17：00
@イービーエム羽田医療技能訓練所



－ 編集後記 －

U-40 全体広報の竜川貴光です。Annual report 作成にあたり、先生をはじめ各支部長の先生方、幹事の皆様にご協力いただき感謝申し上げます。2018 年度から開始して今回6回目ですが、皆様のご協力のもと年を重ねるごとに素敵な仕上がりになったと思います。各プロジェクトの活動が活発になり、表紙の目次が増えていくのがとても嬉しいです。広報としてはFacebookにつづきInstagramのアカウントも作成し、より多くの方への情報をお伝えできるよう、取り組んでいきたいと思ひます。今後も引き続きU-40 の活動を伝え情報を発信することで、若手心臓血管外科同士がつながり有意義な時間を共有できるよう尽力いたします。

釧路孝仁会記念病院
竜川 貴光